



燃やすごみの中には **まだまだ** 資源物が

ごみの減量で最も大切なことは、ごみになるものを元から減らすリデュース（発生抑制）です。リデュースは「生ごみは水を切ってからごみ出す」「水筒やマイはしを持ち歩く」「マイバッグを利用する」「余分に買すぎない」など、日々の生活の中で少しだけ意識して取り組むことでさらにごみを減らすことができます。

まずは、リデュースできることはないか考え、次に、使えるものは何度も再利用するリユース、その次に分別を徹底し資源になるものを捨てずに再生利用するリサイクルをすることがとても大切です。

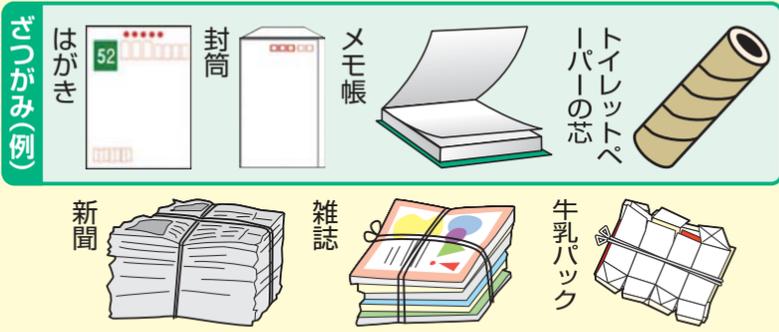
市民の皆さんにはごみの減量・資源化の推進にご理解・ご協力をいただいているところですが、燃やすごみの中にはまだまだ資源となる紙が混ざっています。



収集されたごみの一部

ごみの一部を広げたようす

燃やすごみの中には、まだまだ資源となる紙が混ざっています。きちんと分別して「古紙・布の日に」出すようご理解・ご協力をお願いします。



古紙・布の日に
出してください

新聞や雑誌などのほか、毎日のように出る「ざつがみ」などの古紙類は、「混ぜればごみ、分ければ資源」となります。皆さんの日々の取り組みは、燃やすごみの減量・資源化の推進につながりますので、引き続きごみの分別の徹底にご理解・ご協力をお願いします。

難再生古紙拠点回収をご利用ください

これまで、リサイクルが困難なために燃やすごみとして収集し、焼却処理をしていた紙コップや紙皿など防水加工された紙や感熱紙などの「難再生古紙」の拠点回収を下表の市内9か所で実施しています。回収した「難再生古紙」は資源化されますので、燃やすごみの減量・資源の有効利用につながります。「難再生古紙」は燃やすごみとしても出せませんが、拠点回収をぜひご利用ください。拠点回収で回収された「難再生古紙」は資源化処理できる施設に運搬され、トイレットペーパーなどにリサイクルされます。

もの投入できる

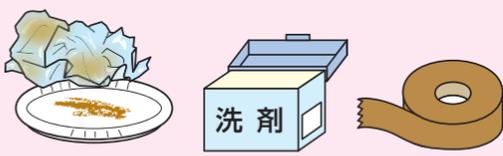
防水加工された紙（紙コップ・紙皿・紙製カップ麺容器・紙製ヨーグルト容器など）、紙製たまごパック、カーボン紙・ノーカーボン紙（伝票など）、感熱紙（FAX用紙・レシート）、写真など



難再生古紙拠点回収をぜひご利用ください。燃やすごみの日にも出せません。

いもの投入できない

アイロンプリント紙、紙製ガムテープ、汚れた紙、洗剤やせっけんの箱など



燃やすごみの日に出してください。

難再生古紙拠点回収場所一覧

※ 各施設の建物内に拠点回収ボックスがあるため、開館時間内に利用してください。

施設名	開館時間	施設名	開館時間	施設名	開館時間
婦人会館 梶野町5-10-32	午前9時～午後10時 休館日：毎月第2・4月曜日（休館日が祝日にあたる時は、翌日の火曜日へ振り替え）、年末年始	公民館貫井北分館 （貫井北センター） 貫井北町1-11-12	午前9時～午後10時 休館日：毎月第1・3火曜日、 年末年始	公民館東分館 （東センター） 東町1-39-1	午前9時～午後10時 休館日：毎月第1・3火曜日、 年末年始
栗山公園健康運動センター 中町2-21-1	午前9時～午後9時 休館日：毎月第2月曜日（休館日が祝日にあたる時は、翌日の火曜日へ振り替え）、年末年始	公民館緑分館 （緑センター） 緑町3-3-23		福祉会館 中町4-15-14	
リサイクル事業所 中町3-19-16	午前9時～午後4時 休館日：毎週金曜・土曜・祝日、 年末年始	公民館本町分館 本町2-15-11		公民館貫井南分館 （貫井南センター） 貫井南町4-3-23	

可燃ごみ処理の支援状況について

平成26年度の可燃ごみ処理は、多摩川衛生組合（構成市：稲城市、狛江市、府中市、国立市）、国分寺市、昭島市および西多摩衛生組合（構成市：青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町）の施設で焼却処理していただいております。今年度の発生見込量の全量について、滞りなく処理できる見込みです。各施設周辺にお住まいの皆様ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

市では、可燃ごみの安定的な処理体制を確立するまでの間、可燃ごみの処理を多摩地域の各団体をお願いしなければなりません。市民の皆さんには可燃ごみの減量にご協力いただいているところですが、引き続きさらなるごみの減量ならびに分別の徹底にご理解・ご協力をお願いします。

平成26年度の可燃ごみ処理の支援先

支援先	支援量
多摩川衛生組合	6,000 t
国分寺市	3,600 t
昭島市	2,000 t
西多摩衛生組合	3,000 t
合計	14,600 t

古紙を配合しています。環境にやさしい植物性インキを使用しています。